

Adobe® InDesign® 2.0.1 日本語版 — 「お読みください」

2002年4月

Adobe Systems Incorporated

目次

1. 動作環境
2. インストール時の注意
3. 確認されている問題点と制限事項
4. 解決された InDesign 2.0 の問題点
5. 一般的なトラブルシューティング
6. スクリプト
7. 著作権について

1. 動作環境

Macintosh:

- ▶ PowerPC® G3 または G4 プロセッサ
- ▶ Mac OS 9.1、9.2、または Mac OS X (バージョン 10.1)
- ▶ 220MB 以上の空き容量のあるハードディスク
注意：InDesign 2.0.1 日本語版 ソフトウェアをスタートアップドライブ以外のドライブにインストールする場合でも、スタートアップドライブ上に一時ファイルやシステムフォルダへ追加された項目を収納するための空き容量が必要になります。
- ▶ 128 MB の RAM (仮想メモリがオンの場合)
- ▶ CD-ROM ドライブ
- ▶ 256 色で 1024 x 768 ピクセルのモニタ解像度
- ▶ PostScript® 印刷：Adobe PostScript Level 2 または Adobe PostScript 3™

Windows®:

- ▶ Intel® Pentium® II、III、または 4 プロセッサ
- ▶ Microsoft® Windows® 98 SE(Second Edition)、Windows Me(Millennium Edition)、Windows NT® 4.0 Service Pack 6a、Windows 2000 Service Pack 2、または Windows XP
- ▶ 145MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- ▶ 128 MB の RAM
- ▶ CD-ROM ドライブ
- ▶ 1024 x 768 ピクセルのモニタ解像度で 256 色をサポートするビデオカード
- ▶ PostScript 印刷：Adobe PostScript Level 2 または Adobe PostScript 3

Mac OS 9.x におけるメモリ割り当て量の調整

Mac OS 9.x における InDesign 2.0.1 日本語版のパフォーマンスは、アプリケーションに割り当てるメモリの量を調整することで最適化することができます。初期設定で InDesign 2.0.1 日本語版に割り当てられるメモリ容量は 50MB です。メモリの割り当てを増やすには、Finder から InDesign 2.0.1J アプリケーションアイコンを選択し、ファイル / 情報を見る / メモリを選択します。システムに搭載されている実際の RAM の容量に応じて、現在割り当てられている値より大きい値を「使用サイズ」に入力します。

作業するドキュメントのファイルサイズが大きいきや複雑であるとき、メモリの割り当てを増やさないと、"Error Initializing Printer." などのエラーが生じることがあるので注意して下さい。InDesign 2.0.1 日本語版は起動時に、システム、起動している他のアプリケーションおよび InDesign が使用するメモリを合計しても空きメモリが残るかどうかをチェックします。

適切なディスクの空き容量の増加

InDesign 2.0.1 日本語版は、作業時にディスクに十分な空き容量がないときには、警告を出します。例えば、ドキュメントを保存したりデータ書き出しなどの作業を実行中に空き容量がなくなった場合には、「重大なエラーが見つかりました。Adobe InDesign を終了します。」というエラーを表示することがあります。このエラーが発生した場合には、まずディスクの空き容量を増やし、InDesign 2.0.1 日本語版を再起動後にファイルを開いて作業を継続してください。

2. インストール時の注意

体験版の削除

InDesign 2.0 日本語版の体験版をインストールされているときは、InDesign 2.0.1 日本語版をインストールする前に必ず体験版を削除してください。完全製品版ではない InDesign 2.0.1 アップデートなどを使用しているときは、このインストーラを使用して InDesign 2.0 日本語版の体験版を更新できません。

Mac OS における InDesign 1.0 日本語版からのアップグレード

Mac OS 上で InDesign 2.0.1 日本語版をインストールした後は、すべての InDesign ドキュメントは InDesign 2.0.x 日本語版ドキュメントとして表示されます。InDesign ドキュメントファイルをダブルクリックして開くと、InDesign 1.0 日本語版で作成されたドキュメントも InDesign 2.0.1 日本語版で開かれます。InDesign 1.0 日本語版ドキュメントを InDesign 2.0.1 日本語版で保存した場合には、InDesign 1.0 日本語版ではファイルを開くことはできません。

InDesign 1.0 日本語版ドキュメントを誤って InDesign 2.0.1 日本語版で保存することを避けるため、InDesign 1.0 日本語版ドキュメントをフォルダにまとめておくか、これらのドキュメントのバックアップをとることをお勧めします。InDesign 1.0 日本語版ドキュメントを InDesign 1.0 日本語版で開いて編集するには、InDesign 1.0 日本語版でファイル / 開くを選択してください。

Mac OS X における InDesign の使用

Mac OS X を Macintosh にインストールする際、ディスクまたはパーティションを HFS+ (Mac OS 拡張形式) または UFS (UNIX ファイルシステム) のどちらかで初期化できます。Adobe InDesign は複数のデータ/リソースフォークのアプリケーション構造を必要とするため、必ず HFS+ 形式のディスクにインストールしてください。[457401]

InDesign 2.0 日本語版を Mac OS X にインストールするには、オペレーティングシステムがインストールされた際に日本語が選択された言語でなければなりません。日本語以外の言語が選択された状態でシステムがインストールされているときは、InDesign CD 上のファイル名が正しく表示されません。また追加のプラグインや CD に搭載されている種々のアプリケーションをインストールすることはできません。Mac OS X が日本語以外の言語でインストールされているときは、Mac OS 9.x に InDesign をインストールすると Mac OS X で使用することができます。[479305]

InDesign 2.0J ユーザガイド

ユーザガイドの 1 ページには、InDesign CD の「はじめにお読みください」ファイルを参照するようにという記載があります。このファイルは、実際には「インストールの方法について」という名前のファイルです。

ユーザガイドの 393 ページでは、InDesign で XML を使用するためにプラグインをインストールする必要があると記載されています。しかし、InDesign 2.0.1 日本語版では、プラグインをインストールする必要はありません。InDesign で XML を使用する場合の詳細については、オンラインヘルプドキュメントを参照してください。

InDesign と InCopy 2.0 の使用について

InDesign ドキュメントを InCopy 2.0 で編集した場合、InCopy プラグインがインストールされていない InDesign では、ドキュメントを開くことができません。InDesign ですべての InCopy 機能を利用するには、InCopy 2.0 インストーラを実行し、プロンプトが表示されたときに「InCopy Plug-ins for InDesign」オプションを選択します。

または、InDesign 2.0.1 CD のグッディーズフォルダに含まれている、InCopy Shared プラグインをインストールすることもできます。このプラグインを使用すると、InCopy 2.0 で編集された InDesign ドキュメントを開くことができます。ただし、すべての InCopy 機能を利用することはできません。このプラグインをインストールするには、次の手順に従います。

1. InDesign 2.0.1 を実行している場合は、アプリケーションを終了します。
2. InCopy 2.0 フォルダとその内容を、InCopy プラグインフォルダ (InDesign 2.0.1 CD のグッディーズフォルダ) から、お使いのコンピュータのハードドライブにある Adobe InDesign 2.0 アプリケーションフォルダの Plug-ins フォルダへ移動します。
3. InDesign 2.0.1 を起動します。

3. 確認されている問題点と制限事項

ここでは InDesign 2.01 日本語版で起こりえる技術的問題およびソフトウェアの競合について記載します。ここに記載されていないそのほかの問題については Adobe のホームページ上のサポートサイト、<http://faqdb.adobe.co.jp/search2/cbswebgw.exe> をご覧ください。

印刷に関わる一般情報

ATM Deluxe を有効にすると、Mac OS 上のプリントダイアログ内で表示画質に関する問題が発生します。ATM Deluxe を無効にすることで、解決することができます。[441229]

Windows 版 InDesign2.0 日本語版からドキュメントを印刷する際に、AdobePS ドライバの PostScript 出力形式を「PostScript (印刷が速くなるよう最適化)」に設定した状態で PostScript ファイルに書き出したとき、またはそのファイルを面付けソフトウェア上で編集し印刷したときに、PostScript エラーが発生する場合があります。このような場合には、PostScript 出力形式を「PostScript (エラーが軽減するよう最適化 -ADSC)」に設定後、作成した PostScript ファイルを使用することで、解決することができます。[453044]

Macintosh 版 InDesign のプリント定義で、「プリンタ」オプションダイアログの プリンタ固有機能に表示される設定値については、スタイルとして保存することができません。InDesign のスタイルでは、PPD に記述されたプリンタ固有機能のデフォルト値を使用します。プリンタ固有機能については「設定を保存」をクリックすることでプリンタのデフォルトとして保存することが可能です。[335495]
メートル法に基づく用紙サイズ (A4 や B5 など) に印刷する場合は、プリントダイアログ内のプレビューにおいて、ドキュメントサイズと用紙サイズに多少食い違いがあっても、ページそのものは正しく印刷されます。[358008]

塗りと線を適用したテキストを、プリンタ常駐欧文フォントを使用して印刷すると、塗りと線の重なりがずれてしまう場合があります。これはプリンタ常駐欧文フォントとシステムにインストールされた欧文フォントが必ずしも一致しないためで、この問題を回避するにはプリントダイアログのグラフィックパネルの「PPD フォントをダウンロード」を選択して有効にしてください。[358638]

Mac OS 9.x では、Adobe PS 8.7.3 またはそれ以前のドライバーの用紙設定ダイアログ (用紙設定ダイアログは InDesign プリントダイアログから選択できます) を使って、InDesign ドキュメントを小冊子として印刷することができません。これに近い効果はセットアップパネルでサムネールを有効にして印刷することで得られます。[426237]

いくつかのプリンタ上で印刷する際、プリンタのレンダリング制限によってベクターアイテムなど一定のラスターページアイテムのカラーが異なって表示されることがあります。[488968]

InDesign ドキュメントの色分解

InDesign から Adobe Illustrator (R) 9.x および 10.x のドキュメントを印刷する際、ドキュメント上のグラデーションがプロセスカラーに分解出力されます (特色はプロセスカラーに変換されます)。特色を特色から特色のグラデーションに分解出力するには、Illustrator のドキュメントを Illustrator 9 EPS ファイルとして再度保存します。特色からプロセスカラーのグラデーションに分解出力するには、Illustrator のドキュメントを Illustrator 10 EPS ファイルとして再度保存します。[464142、474726]

Xerox Docucolor NC60 プリンタから、特色を含む EPS が配置された InDesign ドキュメントが正しく印刷されないことがあります。この問題が生じるときは、InDesign ドキュメントを PDF に書き出して、Acrobat から印刷してください。[477691]

Agfa Taipan RIP 3.1 に色分解 (In-RIP) で出力すると、トライトーン (3 色) およびクアッドトーン (4 色) の EPS ファイルが印刷されません。この問題を回避するには Agfa PDF RIP 1.0 にアップデートする必要があります。[382590]

黒色スウォッチを含むグラデーションは、黒色オーバープリント環境設定を無視したり、そのグラデーションの下に位置するオブジェクトをロックアウトします。この種のグラデーションが適用されているテキストまたはグラフィックにオーバープリントを指定するには、テキストやグラフィックを選択し、ウィンドウ/プリント属性で「塗りオーバープリント」または「線オーバープリント」を選択する必要があります。[306560]

配置された OPI または DCS 画像に透明を適用したとき、または透明なオブジェクトが OPI または DCS 画像の前面または背面にあるドキュメントを書き出したり印刷すると、OPI または DCS 画像が正しく色分解出力されないことがあります。[484426]

特色の名前に拡張文字が使われている EPS 画像の特色を、ドキュメントが作成されたプラットフォームとは異なるプラットフォームから印刷するとき、特色版が色分解されません。これは Windows と Mac OS のシステムでは拡張文字のマッピング方法が異なるからです。この問題を回避するには、作成されたプラットフォームとは異なるプラットフォーム (Mac->Win、Win->Mac) でドキュメントを開いたあとに、

その EPS 画像を再配置する必要があります。ほかの種類オブジェクトに適用されている特色が読み込まれたときには、スウォッチパレットメニューから「未使用をすべて選択」で読み込まれた特色を選択し、「スウォッチを削除」を選択して削除します。それから1つ1つの特色を新たに読み込まれた特色で置き換えてください。[391644]

プリンタドライバで色分解出力で PostScript ファイルを書き出すとき（すなわち InDesign のプリントダイアログの PostScript ファイルプリンタオプションを使用していない場合）、色分解パネルでネガ設定を選択されても、Acrobat Distiller で PDF に変換すると、ネガ設定が無視されます。[461049]

PDF が配置されたドキュメントを色分解出力するとき、オブジェクトが全く含まれていなくても CMYK 分版が作成されます。[421715]

特色から紙色のグラデーションを含む InDesign 1.0 日本語版のドキュメントを、InDesign 2.0.1 日本語版に変換して PDF ファイルに書き出すと、特色がプロセスカラーに変換されます。PDF ファイルに書き出す際に特色を維持したいときは、InDesign 2.0.1 日本語版で濃淡値 0 %の特色を定義し、その特色を紙色と置き換え、PDF 書き出しダイアログの詳細パネルの「カラー」を「変更しない」に指定してから PDF ファイルを書き出します。[453914]

Adobe Photoshop® で書き出された特色が含まれる PDF ファイルを InDesign に配置すると、特色は RGB スウォッチとして読み込まれます。しかし同じ特色を含むドキュメントを Photoshop の EPS ファイルに保存し、InDesign に配置した場合、CMYK スウォッチとして読み込まれます。[431267]

InDesign ドキュメント上で作成した特色からプロセスカラーのグラデーションを含むオブジェクトを EPS ファイルに書き出し、別の InDesign ドキュメントに配置して PDF ファイルに書き出すと、グラデーションに含まれるプロセスカラーは排除されます。[480478]

TIFF ファイルを配置したドキュメントを Acrobat® 4.0 互換 (PDF 1.3) の PDF ファイルに書き出すときに、PDF 書き出しダイアログの詳細パネルで「カラー」を「変更しない」が選択されて「オーバープリント処理」が指定されているとき、TIFF ファイルのカラーが CMYK に変換されます。TIFF ファイルのカラーが変換されないようにするには、PDF 書き出しダイアログの一般パネルで互換性を Acrobat 5.0 に設定します。[452783]

RIP 上で「色分解出力」を有効にして、デバイスに依存しない PPD を使用すると Agfa および Heidelberg Delta RIP で特色がプロセスカラーに変換されて印刷されます。この問題を回避するには、プリントダイアログの出力パネルにあるカラーメニューから分解出力または色分解出力を選択し、InDesign から印刷します。[423895]

ホストベースで色分解されたもの（例：InDesign 上で色分解されたもの）を In-RIP 分解を RIP 上で無効にした AGFA Apogee PDF RIP 1.0 に印刷すると、AGFA Apogee PDF RIP によりそれぞれの色分解に対してラスタープレビューパイロットに結合することのできないグレープレートが生成されます。この問題を回避するには、AGFA Apogee PDF RIP 2.0 にアップグレードするか、In-RIP 色分解として印刷してください。[425112]

Panther や Heidelberg Meta Dimension RIP にコンボジット PostScript ファイルを処理する時、およびプリントダイアログから PostScript ファイルを選択するとき、プロセスカラーのオーバープリント設定は保持されません。オーバープリント設定を保持するには、ホストをベースとした分解出力または In-RIP 色分解出力として印刷してください。[447290]

AGFA PDF RIP 2.0 を使用する際、ドキュメント内に InDesign 上でホストベースの色分解が 2 ページ以上に適用され、また PostScript ファイルとして保存されているドキュメントを処理することはできません。この問題を回避するには、PostScript ファイルとして保存する前に、プリントダイアログの出力パネルにあるカラーメニューから色分解出力を選択してください。[471780]

ドキュメントに配置された Photoshop PDF ファイル内にある特色を他の特色として定義する場合、色分解出力を使用して印刷しても特色として表示されません。この問題を回避するには、Photoshop で Photoshop PDF ファイルを DCS ファイルとして保存し、ドキュメントに配置された Photoshop PDF ファイルと置換えます。[486112]

面付けソフトの使用および InDesign ドキュメントの後処理タスク

Facilis 3.6 及び以前のバージョンでは、InDesign ドキュメントを色分解出力した PostScript ファイルを正しく処理することができない場合があります。この問題は X-Plate 3.6.1 で改善されました。詳細については、三菱製紙株式会社の Web ページで確認して下さい。[428058]

Facilis では、InDesign ドキュメントの方向が横置き（横長）に設定されているとき、横置きサイズまたはカスタムページサイズに対応できる PPD ファイルのみを使用して書き出された PostScript ファイルを処理することができます。この問題を回避するには、InDesign のデバイスに依存しない PostScript ファイルを使用してください。[462981]

InDesign 2.0.1 日本語版は PostScript Level 2 および PostScript 3 RIP に限られた種々の機能を搭載しているため、Adobe PostScript Level 1 互換の後処理タスク用アプリケーション（PostScript Level 1 をエミュレートするソフト／ハード RIP）からは、InDesign 2.0 日本語版ドキュメントを正しく出力できないことがあります。

TrapWise 3.2 は、デュオトーン（2色）または DCS 画像を含む InDesign ドキュメントから、デバイスに依存して書き出された PostScript ファイルや EPS ファイルをトラップできません。この問題は今後リリースされる TrapWise にて解決される予定です。TrapWise 3.2 は、この InDesign ドキュメントから書き出された PDF ファイルを処理することができます。[463200, 390287]

面付けソフト（特に Facilis 3.x、ScenicSoft Preps 4.0 または Ultimate Impostrip 6.0）用にはドキュメントを PostScript ファイルとして書き出すことを推奨します。PostScript ファイルの互換性を保証するためには、プリントダイアログから PostScript プリントオプションダイアログを使用して PostScript ファイルを書き出す必要があります。そうでなければ面付けソフトから出力するときに、PostScript エラーが生じることがあります。[379124]

Prinerger 2.0 および以前のバージョンでは、特色に透明が適用されているときや、特色がデュオトーン（2色）または特色からプロセスカラーのグラデーションに使用されているときに、特色をプロセスカラーに変換することがあります。この問題は Prinerger 2.0.7 にアップグレードすることによって解決できます。[459439]

InDesign ドキュメントから PDF ファイルに書き出されたグラデーションが、ScenicSoft Preps 4.0 で色分解出力されないことがあります。[389039]

InDesign から書き出された PDF ファイルを、Acrobat から ScriptWorks 4.5 またはそれ以前のバージョンを搭載された Harlequin RIP から出力するときに、PostScript エラーが発生することがあります。InDesign は PDF 1.3 仕様の PDF を作成するので、この仕様をサポートする Harlequin ScriptWorks 5.3 またはそれ以降のバージョンにアップグレードください。[367418, 363695]

OPI の使用

EPS の書き出しダイアログの詳細パネルの「OPI を無視：PDF」チェックボックスは、PDF 画像を無視できるワークフローに含まれている EPS ファイルを作成する場合にのみオンにしてください。

OPI ソフトは、InDesign ドキュメントに配置された画像のファイル名に特殊文字（ドイツ語システム上のウムラウト付等）が使用されていて、プリントダイアログの「詳細」パネルにある「OPI を無視」で、EPS、PDF、またはビットマップ画像のいずれかが選択されているときには画像の置き換えを行いません。この問題を回避するには、プリントダイアログの「詳細」パネルにある「OPI を無視」で、EPS、PDF、またはビットマップ画像の選択を解除してください。[315524]

配置された OPI 画像に透明が適用されているときや、透明が適用されたオブジェクトが OPI 画像の上方または下方にあると、EPS に書き出しまたは出力する際に OPI 画像が正しく描画されないことがあります。[484426]

Mac OS では、2 バイト文字を含むパス名またはファイル名を OPI サーバが検索できないことがあります。このような場合は、OPI を使用する前に、パス名およびファイル名の文字が 1 バイトの欧文文字だけであることを確認してください。[388355]

Scitex APR システムを使用して InDesign のドキュメントに配置された画像データの置換をすることはできません。アプリケーションで APR 画像データの置換をするには Scitex 社から供給されるプラグインが必要であり、InDesign 用のプラグインが現状提供されておりません。

非 PostScript 対応プリンタからの印刷

InDesign 2.0 日本語版は、Adobe PostScript レベル 2 以降のプリンタへの印刷を実行することを想定して最適化されていますが、InDesign ドキュメントを非 PostScript 対応プリンタに印刷することも可能です。ただし、InDesign で非 PostScript 対応プリンタに印刷した場合は、PostScript プリンタに比べて、速度や印刷品質が低下する場合があります。

カラーマネージメントを使用して非 PostScript プリンタから印刷した場合は、ドキュメントの印刷に要する時間が長くなる場合があります、

また不正確な埋め込みプロファイルが含まれていたり、カラープロファイルのものが含まれていてもモノクロのプリンタに出力すると、グレースケールの画像として出力されます。カラーマネージメントを使用しない設定にするには、編集/カラー設定を選択し、「カラーマネージメントを有効にする」の選択を解除します。[355641]

黒色のオブジェクトやテキストを Canon 製プリンタで印刷すると、エッジの周りに細かいギャップ（白い縁）が生じることがあります。[347089]

Windows で非 PostScript プリンタを使用している場合、「ファイルへ出力」機能はサポートされません。[356463]

Windows 2000 で InDesign から NEC PICTY 4000 プリンタに印刷する場合、正順で印刷するにはプリントダイアログの一般パネルで「逆順で印刷」を選択し、逆順で印刷するには選択を解除します。[360805]

Windows 98 で ALPS MD5500 プリンタに印刷する場合は、グラデーションカラーを適用したテキストが印刷されないことがあります。[394636]

ドキュメントを Epson LP-8200 に出力するとき、ページが拡大されて印刷されることがあります。[473942]

Mac OS X から InDesign ドキュメントを Canon インクジェットプリンターに初めて印刷するとき、問題が生じる可能性があります。これは初回に限って起こりえる現象ですが、この問題を回避するには、ドキュメントを Canon インクジェットプリンタに初めて印刷するとき、プリントダイアログにある「プリンタ...」を選択してプリントドライバダイアログにアクセスします。「プリント」を選択してプリントドライバダイアログを閉じ、InDesign プリントダイアログの「プリント」を選択してドキュメントを印刷します。同じドキュメントを同じプリンタに再度印刷するときには、この回避方法を繰り返す必要はありません。[477477]

Macintosh で非 PostScript 対応のプリンタで印刷するときに、ドライバのデフォルトと異なる用紙サイズを選択するには、InDesign のプリントダイアログから「用紙設定」を選択して設定してください。[435892]

非 PostScript 対応のプリンタで印刷するときに、ドキュメントの端が印刷されないことがあります。これは出力機器によって印刷可能領域が異なり、ドライバによって印刷可能領域の設定が違うために生じます。ドキュメントが欠けて印刷されるときはセットアップパネルから幅に合わせるなどの設定を選択してください。[354214]

Mac OS 9.x でセレクトに非 PostScript 対応のプリンタが選択されているときに、InDesign のプリントダイアログにプリンタ名が正しく表示されないことがあります。[453787]

オーバープリントプレビューにおける色の表示

CMYK カラースイッチが適用されたオブジェクトをオーバープリントプレビューで表示するには、編集メニューから「透明ブレンド領域の設定」を「ドキュメントの CMYK 領域を使用」に設定する必要があります。透明ブレンド領域が「ドキュメントの RGB 領域を使用」に設定されているときは、CMYK カラーのオーバープリントはオーバープリントプレビューでは表示されません。[453586]

プロセスカラーアイテムの上にグラデーションアイテムが配置されている場合、そのドキュメントを Acrobat 5.0 互換性として PDF に書き出し、さらに新規の InDesign ドキュメント上に配置する場合、InDesign ではオーバープリントプレビューを正しく表示することができません。[476932]

「特色から特色」のカラーグラデーションを含む Freehand EPS ファイルを InDesign ドキュメントに配置して、表示メニューの「オーバープリントプレビュー」をオンにした状態にしたり、またプリントダイアログボックスの出力パネルで「オーバープリント処理」を有効にして印刷する場合、ベタ領域がグラデーションとして表示される場合があります。この問題を解決するには、「オーバープリントプレビュー」または「オーバープリント処理」オプションを無効にしてください。[490731]

ドキュメントのテンプレート作成

Mac OS でドキュメントをテンプレートで保存するには、「ユーザーガイド」の 25 ページに別名で保存ダイアログの「ひな形」を選択するように記載されていますが、このオプションはダイアログにはありません。別名で保存ダイアログのフォーマットから「InDesign 2.0 テンプレート」を選択してください。[475521]

モノルビの動作仕様の変更について

InDesign 2.0 日本語版では、モノルビの動作仕様を変更されました。

モノルビは、ルビ設定ダイアログの「ルビ」テキストボックスでルビ文字間にスペースを挿入することによってルビ文字を分割することができます。InDesign 1.0 日本語版では、モノルビを適用するために選択したテキストの文字数が、スペースで分割されたそれぞれのルビ文字の数よりも多い場合の動作に一貫性がありませんでした。InDesign 2.0 日本語版では、親文字の文字数よりもモノルビ文字の文字数が多い場合はルビ文字の文字数に応じて親文字の選択範囲が自動的に調整されます。

例えば：

1. 「日本語」のような3文字をルビ親文字として選択する。
2. ルビ設定ダイアログのルビ文字ボックスに「に ほん」と入力し、モノルビを選択して、OK ボタンをクリックする。

この場合、モノルビ「に ほん」は親文字「日本」にかかり「語」はルビの親文字として扱われません。もしも「日本語」全体にルビをかけたい場合には、ルビ設定ダイアログボックスを再度開き、正しいルビ文字を入力するか、ルビの種類を適宜変更する必要があります。また、

1. 「日本語」のような3文字をルビ親文字として選択する。
 2. ルビ設定ダイアログのルビ文字ボックスに「にほん」とスペースなしで入力し、モノルビを選択して、OK ボタンをクリックする。
- このようにモノルビとしてスペースをまったく含まないルビ文字が入力された場合、InDesign 1.0 日本語版では、親文字「日本語」全体にグループルビとしてルビ文字がかかる仕様でしたが、InDesign 2.0 日本語版では動作の一貫性をはかるため、入力されたルビ文字を親文字の最初の一文字にモノルビとしてかけるように仕様変更されました。[483013]

フォント、テキスト、および辞書の使用

Mac OS X で、Helvetica および Courier Type 1 PostScript フォントが有効である場合、これらのフォントによって OS X システムフォントの Helvetica および Courier が上書きされます。[501870]

段落が両端揃えに設定されている際に割注を適用すると、適用されたテキストの間隔が不揃いになります。一貫した間隔を保つには、文字組みアキ量、字送り、または両方を有効にし、字送りを調整してください。あるいは、不揃いになっている文字の文字組みアキ量を追加したり削除してください。[439575]

PageMaker 6.5J 上で合成フォントの使用されたドキュメントを作成し、それを InDesign で開く時、その合成フォントがシステム上でアクティベートされていないと「不明なフォント」として表示されます。変換されたドキュメント上で合成フォントが起動され編集可能であることを確実にするためには、PageMaker 6.5J ドキュメントを InDesign で開く前に、システム上の合成フォントの必須コンポーネントを起動してください。[485654]

日本語以外の InDesign 1.x ドキュメントを InDesign 2.0J で開く場合、デフォルトテキストコンポーザは欧文に設定されています。テキストコンポーザを日本語に再設定するには、段落パレットのフライアウトメニューから日本語コンポーザオプションを選択してください。[487347]

合成フォントを使用した文字を含むテキストに線を適用しても、テキスト内の隣接文字がビットマップまたはアウトラインで保護されたコンポーネントフォントを使用する場合、線を保持することはできません。新しい行を2文字間に挿入し、線を適用した後に挿入した行を削除した場合、適用した線を保持することができます。[486210]

ATCフォントはフォントコンポーネントがインストールされていないと使用できません。（フォントがアクティベートされていないとは異なります）。ATCフォントをInDesignで使用する前に、すべてのATCフォントコンポーネントがアクティベートされていることを確認してください。[382567]

1 バイト外字フォントの文字組み設定における文字クラスは欧文となります。[394322]

ドキュメントのレイアウトグリッドに設定されているフォントが、ドキュメントで使用されていなくしかもコンピュータ上でアクティベートされていないと、そのドキュメントを開くときに「環境にないフォント」ダイアログによるアラートは出ません。[371103]

インライングラフィックを含むテキストに割注を適用したときには、インライングラフィックはテキストにあわせて縮小されません。割注をテキスト適用する前に、インライングラフィックのサイズを調整してください。[417268]

カラスウォッチ、打消し線、または下線が適用されている割注テキストを「書式／アウトライン作成」でアウトラインに変換すると、アウトラインが複数作成されます。[443467]

フレーム内の段落に行取りを適用するとき、同じフレーム内に続く段落にセンター行送りが適用されていると、その段落は行取りが適用された段落に応じて移動しません。センター行送りが適用された段落を移動するには、そのテキストを選択し行送りを調整してください。[442744]

合成フォントで、Type1 外字セットを元にする特例文字セットに文字を追加することはできません。[474542]

ルビまたは圏点が適用された文字を書式／アウトラインの作成でアウトラインに変換し、その後に続いて文字を入力すると親文字のベースラインシフトが自動的に変更されます。後続の文字を揃えるには文字を選択し、ベースラインシフトを0に設定し直します。[480907]

Windows 98 では、段落パレットから文字組みアキ量詳細設定ダイアログボックスを開く前に、バックグラウンドで動作しているアプリケーションをすべて閉じてください。文字組みアキ量詳細設定では、大量のシステムリソースが消費されるので、ほかのアプリケーションを開いたままにしておくとは不具合が生じることがあります。[353023]

アウトライン化された文字列の文字組みアキ量は維持されません。[374117]

Dynafont の CID フォントを選択すると、欧文合字はスペースに置き換えられます。[358217]

行取りが適用されている段落とそれに続く段落にセンター行送りを適用すると、行取りが無視されることがあります。[43296]

均等配置の段落の行長は文字間の空きで調節されます。個々の文字は縮小／拡大されません。[439623]

縦中横を適用できない文字があります。テキストの範囲を選択して縦中横を適用する前に、テキストに以下の文字が含まれていないことを確認してください。[380991]

- ▶ タブ
- ▶ ここにインデント
- ▶ 段落記号

テキストをアウトライン化すると、選択されたテキスト全体が1つの複合パスとして変換されます。個々のアウトライン化された文字を移動するには、まずダイレクト選択ツールでドラッグしながら移動したい文字のすべてのパスを選択します。その後、ダイレクト選択ツールで文字上の任意の場所をクリックし希望の位置に移動します。[304905]

テキストの回り込みが適用されたオブジェクトを2つ以上の段組にまたがって配置すると、上下または左右の段のテキストのベースラインが一致しないことがあります。複数の段組みのテキストのベースラインを揃えるには、テキストツールでテキストを選択し、段落パレットからグリッド揃えを選択するか、または適用されている段落スタイルのグリッド揃えを設定します。[310561]

特定の言語の辞書を使って文字や段落スタイルを設定する前に、必ずその言語の辞書がドキュメントのテキストに適用されていることを確認してください。文字や段落スタイルダイアログおよび検索／置換ダイアログの言語ポップアップメニューにはインストールされているすべての辞書ではなく、ドキュメントに既に使用されている言語の辞書のみが表示されます。[298941]

InDesign 1.0 日本語版で作成されたユーザー辞書はインストーラによって自動的に InDesign 2.0.1 日本語版にインストールされません。InDesign 1.0 日本語版のユーザー辞書を InDesign 2.0.1 日本語版で使用するには、次の手順が必要です：

1. InDesign 1.0 日本語版を削除またはアンインストールする前に、以下の場所にあるすべての *.UDC ファイルの複製を作成しバックアップしておきます。
 - ▶ Windows98: Windows¥Local Settings¥Application Data¥Adobe¥InDesign¥Version 1.0J¥Dictionaries¥Proximity
 - ▶ WindowsNT: WINNT¥Profiles¥[user name]¥Local Settings¥Application Data¥Adobe¥InDesign¥Version 1.0J¥Dictionaries¥Proximity
 - ▶ Windows2000: Document and Settings¥[user name]¥Local Settings¥Application Data¥Adobe¥InDesign¥Version 1.0J¥Dictionaries¥Proximity
 - ▶ Macintosh : システムフォルダ : 初期設定 : Adobe InDesign : Version 1.0J ; Dictionaries : Proximity
2. InDesign2.0.1 日本語版をインストールする。
3. InDesign 1.0J の *.UDC ファイルを以下の場所に移動する。
 - ▶ Windows : Windows ¥ Profiles ¥ User ¥ Local Settings ¥ Application Data ¥ Adobe ¥ InDesign Version 2.0J ¥
 - ▶ Macintosh : システムフォルダ : 初期設定 : Adobe InDesign : VEersion 2.0J ; Dictionaries : Proximity

[355733]

表の使用

グラデーションの塗りや線を含むセルを異なる表の列にコピー／ペーストすると、デフォルトではグラデーションがテキストフレームの幅一杯に広がってしまうため、グラデーションが変わったように表示されることがあります。[466282]

セルの罫線に異なる線種や線幅が指定されていると、ときにはセルの角にギャップや重なり過ぎなどの障害が生じうまく結合しないことがあります。[467886]

結合されたセルをコピー／ペーストすると、近くのセルの内容が上書きされてしまうことがあります。[476461]

セルの罫線に指定されているグラデーションの設定を変更しても、セルの上部の罫線には適用されないことがあります。これはセルの上部の罫線が一行前のセルに属するときに生じます。[479171]

Excel から文字の縦位置や斜線が適用されているセルを InDesign にコピー／ペーストできないことがあります。これらの属性を維持するにはファイルメニューから Excel ファイルを配置してください。[479722, 481206]

HTML 形式の表を含むドキュメントを書き出すとき、画面上で特殊文字が表示されていると、それがそのまま HTML ファイルにも表示されます。この問題を回避するには、書式メニューにある「特殊文字を表示」がチェックされていないことを確認してください。[485539]

ドキュメントを HTML として書き出す際、表に適用した回転されたテキスト、グラデーション、または斜線はサポートされていません。[484172, 484174, 484175]

RTF、Excel、または Word ファイルを読み込むとき、テキストと表の形式は維持されない場合があります。さらに、InDesign ドキュメントを HTML または RTF ファイルとして書き出すときも、テキストと表の形式は保たれない場合があります。

表内のすべての行は、同じ縦軸を使用しなければなりません（行の縦軸をずらすことはできません）。最初の行の場所が、その後続くすべての行の位置を決定します。

PDF の書き出し

InDesign から日本語 OpenType フォントが使用されているドキュメントを PDF に書き出し、Illustrator 10 で開くと、OpenType フォントが環境にないフォントとして警告されます。この場合には Illustrator で OpenType フォントをテキストに適用し直す必要があります。[468678]

透明なオブジェクトを含むドキュメントを、「eBook タグを含む」を選択して Acrobat 5.0 互換の PDF に書き出し、その PDF ファイルを Acrobat 5.0.x で開け、「表示／幅に合わせる」を選択しても透明なオブジェクトには適用されません。[440890]

Version 4 ICC プロファイルを作業スペースに割り当てているときに、PDF 書き出しダイアログの詳細パネルで「ICC プロファイルを含む」を選択して PDF ファイルを書き出すと、InDesign は Version 4 ICC プロファイルを Version 2 ICC プロファイルに変換し、Version 2 ICC プロファイルを PDF ファイルに埋め込みます。これは今だ Version 4 ICC プロファイルをサポートしていない他のアプリケーションとの互換性を維持するためです。[449791]

埋め込まれた PostScript Type 1 または Open Type フォントを含む PDF を InDesign ドキュメントに配置し、そのドキュメントを PDF として書き出すと、それらのフォントを用いたテキストは Acrobat 上で検索不能になります。[443437]

画像などのラスターライズされたページアイテムを含む EPS ファイルをドキュメントに配置し、さらに透明を適用しドキュメントを PDF として書き出すと、ラスターライズされた EPS のページアイテムが複数のオブジェクトに変換されます。ラスターライズされたページアイテムを Acrobat 上の Touch up Object tool を使用して編集しても、ページアイテムは複数アイテムとして表示されます。[452751]

境界のぼかし、透明、ドロップシャドウが適用されたページアイテムを、特色の適用されたページアイテム上に配置し、そのドキュメントを PDF に書き出す場合、Acrobat 5 互換性として書き出すことを推奨します。これによってページアイテムが Acrobat 5 から正確にレビューおよび印刷されることが保証されます。

EPS の書き出し

EPS の書き出しダイアログの埋め込みフォントオプションにある「サブセット」を選択して、ドキュメントを EPS に書き出すと、書き出したファイルを高画質で表示したり、または印刷する際に不正確にレンダリングされた字形発生することがあります。この問題を回避するためには、EPS ファイルを書き出すときに埋め込みフォントオプションから「完全」を選択してください。[487395, 491171]

XML の書き出し

ユニコード (UTF-8) エンコーディングを使用して書き出した XML ファイルは、GoLive 日本語版や FrameMaker 日本語版でドキュメントを開いた場合には正しく表示されません。GoLive 日本語版や FrameMaker 日本語版で XML を書き出す場合は、シフト JIS エンコーディングを使用してファイルを書き出してください。[505492]

ファイルの読み込み

PageMaker ドキュメントの変換後に、段落境界線の位置が変更されることがあります。この問題が発生した場合は、該当するテキストまたは段落スタイルを InDesign 2.0 日本語版 で選択し、境界線のオフセット値をゼロ (0) に設定してください。[396261]

漢数字を脚注や文末脚注に使用する Word ドキュメントを RTF ファイルで保存し InDesign に配置すると、漢数字がローマ数字で置き換えられます。漢数字を維持するには、Word ドキュメントとして保存し InDesign に配置してください。[428734]

デフォルトの段落スタイルを元にし他に何のスタイル情報を持たない文字スタイルを含む Word ドキュメントを RTF ファイルに保存し InDesign に配置すると InDesign のデフォルトの文字サイズが適用されます。文字サイズを維持するには、Word ドキュメントとして保存し InDesign に配置してください。[339734]

Excel のワークシートの行送りがユーザー定義されているセルの行送りは読み込まれません。[474318]

Word ドキュメントの入れ子になっている表を読み込むことができません。[458626]

Word 2002 で作成された Word ドキュメントのピクチャー中点は、InDesign に読み込まれると通常の中点に置き換えられます。[468515]

XML ファイルを読み込むとき、DTD が参照されていると、ファイルが読み込まれなくなる場合があります。[463143]

QuarkXPress ドキュメントの変換

QuarkXPress 3.3J で設定されている原点は InDesign 2.0 日本語版に変換にされないため、QuarkXPress ドキュメントを変換すると、グラフィック、テキストフレーム、およびガイドが異なる座標で表示されます。ページ上では、正しい位置にアイテムが表示されます。[387065]

QuarkXPress 3.3J ドキュメントに含まれる PANTONE、TRUMATCH、または FOCOLTONE カラーライブラリは RGB カラーに変換されます。[299539]

この問題の対処法として次の 2 つがあります：

対処法 1：

1. QuarkXPress ドキュメントを変換します。
2. スウォッチパレットから変換された PANTONE/TRUMATCH/FOCOLTONE のスウォッチをダブルクリックします。
3. スウォッチオプションダイアログのカラーモードを PANTONE/TRUMATCH/FOCOLTONE のいずれかに設定し直します。
4. 変換中に読み込まれたスウォッチ名を探します。
5. そのスウォッチを選択し OK をクリックします。
6. 上記の手順によって、正しい CMYK 値をもつスウォッチカラーが再定義されます。

対処法 2：

1. QuarkXPress ドキュメントを変換します。
2. QuarkXPress ドキュメントを EPS ファイルに書き出します。(特色が使われているページを忘れずに選択します。)
3. 書き出された EPS ファイルを InDesign に配置します。
4. InDesign で、「ドキュメントのカラーを EPS で定義されているカラーに置き換えますか。」というアラートダイアログが出されたら、「はい」を選択します。
5. 上記の手順によって、RGB 値で定義されたカラーを正しい CMYK 値で定義されたカラーに置き換えます。

検索／置換コマンドの使用

字形パレットで適用した異体字は、「検索／置換」コマンドで検索できません。[367477]

ブック機能の使用

ブックの一部であるドキュメントを書き出したり印刷する前に、必ず出力するドキュメントがブックパレットで選択されていることを確認してください。複数のドキュメントを選択するには、Ctrl キー (Windows) または Command キー (Mac OS) を押し下げながらリスト

からドキュメントをクリックします。ブックパレットで選択されているドキュメントのみが出力されます。プリントダイアログまたは PDF の書き出しダイアログではドキュメントの選択を変更することはできません。[411663]

ドキュメント名に” ¥ ” が使用されているドキュメントはブックパレットから開くことはできません。[461874]

変形パレットの使用

InDesign 2.0J ユーザガイドでは、変形パレットのフライアウトメニューにあるコマンドが「スケール内容」と記述されていますが、これは「内容を変形」と変更されました。「内容を変形」がオンの場合、適用された変形効果（拡大／縮小、回転、または歪み）が選択されたアイテムすべて（フレームとその中身）に適用されます。

「内容のオフセットを表示」コマンドは、変形パレットからフライアウトメニューを通して表示されます。この機能は、InDesign 2.0J ユーザガイド内には記述されていません。内容のオフセット表示がオンの時に、ダイレクトセレクトツールを使用して別のアイテムの中にあるアイテム（別のページアイテムの中にペーストしたアイテムなど）を選択すると、変形パレット上の X と Y フィールドに、コンテナ（ペーストしたページアイテムなど）に関する座標が表示されます。X と Y の横に表示される小さな ” + ” サインは、値がコンテナに関してオフセットだということを表しています。内容のオフセット表示がオフの場合、選択されたアイテムの座標は随時定規と一致します。

WebDAV のワークフローの使用

管理されたドキュメントを異なるサーバーに「別名で保存」すると、すべての管理されたリンクが無効になります。[475854]

ドキュメントと同じフォルダにあるテキストや画像ファイルにリンクが設定された InDesign ドキュメントを、ファイル／ワークグループ／別名で保存で異なる場所に保存するとリンクが無効になってしまいます。[475690]

Mac OS システム上で作成された InDesign ドキュメントは、WebDAV サーバーに保存する場合、ファイル名の最後に「.indd」（InDesign ドキュメントの場合）または「.indt」（InDesign テンプレートの場合）をつけて保存する必要があります。

キーボードショートカット

インストールされた Apple Data Detectors が有効なときはコンテキストメニューが表示されません。コンテキストメニューを表示するには Apple Data Detectors の拡張機能とコントロールパネルを削除するか、InDesign のヘルプメニューから Apple Data Detectors を無効に設定してください。[351218]

Mac OS9.x でホットファンクションキーが有効なときは、ファンクションキーを InDesign のキーボードショートカットに使用することはできません。ファンクションキーはキーボードコントロールパネルで無効にすることができます。

表示画質

グラデーションオブジェクトを含む Freehand EPS ファイルをドキュメントに配置して、高画質表示設定を有効にすると、グラデーションが正確に表示されない場合があります。ドキュメントの印刷や PDF への書き出し際に、この外観が影響を及ぼすことはありません。[490685]

スウォッチパレット

特色を含む EPS ファイルをドキュメントに配置して、その後ドキュメントから配置したファイルを削除すると、特色スウォッチはそのまま保持され、スウォッチパレットから削除できないことがあります。スウォッチを削除するには、スウォッチパレットのフライアウトメニューにある未使用をすべて選択し、保持したいスウォッチを選択解除します（Alt または Option キーを押しながらクリックすると複数のスウォッチの選択を解除できます）。その後、パレット上のごみ箱アイコンを選択します。[397759]

4. 解決された InDesign 2.0 での問題点

このセクションでは、InDesign の今回のバージョンで解決された技術的問題点について簡単に説明します。ここに記載されていないその他の問題については Adobe のホームページ上のサポートサイト、<http://faqdb.adobe.co.jp/search2/cbswebgw.exe> をご覧ください。

PDF への書き出し

特殊文字を含む段落スタイルの名前は、eBook タグを含む書き出された PDF に正確に表示されます。[501446]

見開きページにまたがっているテキストフレームにぼかし効果が適用されているドキュメントを、Acrobat 4 互換の PDF に書出す場合、テキストは書き出された PDF のスプレッド全体に表示されます。[493073]

PDF 書き出しダイアログボックスの「ページ範囲」の値を変更した後、PDF 書き出しスタイルは「カスタム」に切り替わりません。[508133]

PDF 書き出しでモノクロビットマップ画像を圧縮する最大解像度が、1500dpi から 2400dpi に上がりました。[502559]

PDF ファイルの配置

Windows 上で、ファイル拡張子が .PDP の Photoshop で保存された PDF ファイルは、InDesign 2.0.1 でも PDF ファイルとして認識されます。[504600]

ハイパーリンク

2 つ以上の InDesign ドキュメント間でハイパーリンクを作成して、ドキュメントを PDF に書き出した場合、書き出された PDF のハイパーリンクを選択したときに「ファイルが見つかりません。」というエラーが返されることはありません。[506668]

グラフィック

異なる角度で回転されているグラフィックをフレームからコピーして、回転された新しいフレームに貼り付けると、指定した角度でグラフィックが貼り付けられ、ゆがんで表示されることはありません。[505563]

ドキュメントに画像を配置する場合、またはクリッピングパスダイアログボックスから画像プレビューを表示する場合に、画像クリッピングパスが反転表示されることはありません。[503984、503990]

索引

すべて追加索引機能を使用して、複数の単語（「カラーマネジメント」など）で索引項目を作成できます。[503195]

デンマーク語、ノルウェー語、スペイン語、スウェーデン語のアルファベットの拡張文字は、正確に索引に加えられます（それぞれ InDesign のローカライズされたバージョンが使用されている場合）。[502549、509202]

印刷

InDesign プリントダイアログボックスの拡大・縮小編集ボックスに小数点以下を含む数値が入力されている場合、同じウィンドウで他の変更が行われるときに、この数値がプリンタドライバによって認識されます。[497995]

Windows 2000 上で、非 PostScript 対応のプリンタで印刷する場合、複数のページのドキュメントで、塗りのカラーを適用して線を適用しないページアイテムが、線を付けて表示されることはありません。[505369]

Mac OS 9.x 上で、InDesign ドキュメントを RIP へ出力する場合、サイズの大きなテキストに適用されるドロップシャドウは正確に配置されます。[500533]

フォントがハードドライブ上の ¥Library¥Fonts にある場合、Mac OS X でパッケージ機能を使用すると、PostScript Type 1 フォントのプリンタフォントファイルがパッケージされます。[494461]

「白紙をプリント」オプションは、PostScript ファイルに保存するときに利用できます。[506127]

Windows のプリントダイアログボックスのページ範囲フィールドに、日本語の数字を使用できます。[503514]

ドキュメントの保存

Windows 上で、マイ ドキュメントフォルダのデフォルトの場所が変更された場合、InDesign の「保存」および「名前を付けて保存」メニューコマンドはグレー表示されません。[500150]

ドキュメントを保存するとき、濁音や半濁音を含む日本語名を使用したドライブに配置されているファイルへもリンクが保持されます。[509734]

スウォッチ

デフォルト以外のライブラリからスウォッチライブラリを読み込んだときに、InDesign が終了してしまうことはありません。[478058]

線

ダッシュ線が適用されている行では、最初と最後のダッシュがその行の他のダッシュと同じ長さで表示されます。[484455]

テキスト

読み込まれたテキストをマスターページのテキスト以外のフレームオブジェクトに自動で流し込むために、Shift キーを押しながらキーボード操作を行う場合、InDesign が終了してしまうことはありません。[497432]

「分割禁止」文字属性を単語間のホワイトスペースに適用すると、単語が複数の行にまたがって分割されるのを防ぐことができます。[497601]

大文字を含まない字体は、自動ページ番号で使用することができます。[327396]

テキストツールがアクティブである間、マスターページのテキストフレームを上書きできます。[492994]

複数段組のテキストフレームをコピーする場合、フレームを貼り付けるときにオーバーセットテキスト（表示可能なフレームエリアに合わないテキストなど）が失われません。[303324]

値の大きな負の字送り（-100em 以上）をテキストを含むテキストフレームにオブジェクトサイズ調整を適用しても、テキストはテキストフレームでオーバーセットしません。[491492]

文字間のメトリクスカーニングの値が、Macintosh システム上で PostScript Type 1 フォントを使用するテキストに正確に表示されます。[496544]

アクティブな Courier および Helvetica フォント（太字、傾斜など）のすべてのスタイルは、Mac OS X 上の InDesign で利用できます。[501870]

Macintosh のキーボードでは、Command+Shift+B キーおよび Command+Shift+I キー（テキスト選択で太字および斜体を適用または削除するために使用します）ショートカット機能を使用できます。[490715、494509]

Windows では、Alt キーとテンキーパッドを使用して、すべての字形を挿入できます。[510393]

キーボードで Option+Shift キー（Mac OS）または Alt + Shift キー（Windows）ショートカットを使用して段落スタイルをテキスト選択に適用すると、選択範囲のすべての文字スタイル属性が削除されます。[511051]

日本語版以外の InDesign 2.0.1 で、OS 付属の Input Method Editor（IME）を使用して、中国語、韓国語、および日本語文字をドキュメントに入力できます。[509954]

中黒を含む行に字送りとぶら下がり：標準を適用した場合にも正しい組みを実現できるようになりました。[507376、507789、508383]

タブを含む行内の文字組みアキ量が正しくなりました。[511984]

Y 幅を含む縦中横テキストの高さと幅は、縦中横字形に適用されます。縦中横テキストが、最も高い縦中横字形の高さと幅に等しくなるまで、行の高さを変更できます。[508805]

フレームグリッドの文字サイズを級数単位で指定した場合に発生した誤差が修正され、ぶら下がり：標準が適用されている場合にも正しい組みを実現できるようになりました。[499908]

複数の段組に段落を流し込む場合に、ドロップキャップを含む段落が正しいグリッド位置に配置されます。[448132]

Windows 98 および Windows ME オペレーティングシステム上で、Arial フォントを使用する RTF ファイルが正しく読み込まれます。[490431]

連結されたフレームを選択してルビフォントを適用した場合の動作が修正されました。[494500]

ドキュメントを開いていないときにルビフォントが文字パレットから選択された場合、InDesign が終了してしまうことはありません。新

規ドキュメント作成され、テキストフレームにルビフォントが使用されます。[502946]

ヒラギノ CID フォントにタブを挿入できます。[504851]

変形の効果

プレビューで 2 回以上、拡大／縮小ダイアログボックスのパーセンテージを調整して、複数のページアイテムを拡大／縮小した場合、オブジェクトがアートボードにないときに「This would cause one or more of the objects to leave the artboard」というエラーが返されることはありません。[505391]

ページアイテムを変形しているとき、新しいページアイテムを選択した後に、元の位置の中央にリセットされます。[487491]

単位

アメリカンポイントで指定した値は、ミリメートルに正しく変換されます。[510008]

ユーザインターフェース

ページパレットのアイコンおよびスクロールバーは、パレットの移動や最小化、InDesign の再起動や新規ドキュメントの作成などを行った後に消えることはありません。[493076]

インストーラ

InDesign 2.0.1 を Mac OS X にインストールする場合、インストーラによって「You do not have enough access privileges for this installation」に続いて「Error creating folder. 1008:9, - 5000 access denied.」というエラーが表示されることはありません。[500503、497268]

InDesign 2.0.1 を Mac OS X にインストールする場合、インストーラによって「An Error Has Occurred Which Prevented the Installation from Completing」というエラーが返されることはありません。[496131、504250]

Windows 上で、インストーラによって「The information in the middle initial field has exceeded the allowed length」というエラーが返されることはありません。[506449]

InDesign 2.0.1 を Windows NT、Windows 2000、または Windows XP にインストールする場合、圧縮された NTFS ドライブでインストールすることにより、オンラインファイルのインストール中にインストーラが 80% で終了してしまうことはありません。[499687]

5. 一般的なトラブルシューティング

この「お読みください」ファイルまたは Adobe のホームページで記載されていない問題が発生したときは、以下の手順でトラブルシューティングを進めてください。Adobe テクニカルサポートでは記載されていない問題の特定と解決にこれらの手順を使用しています。

ほかのすべてのアプリケーションの終了

アプリケーション（ユーティリティも含む）は、コンピューターの RAM を使用して演算処理や関数を実行します。メモリの管理に問題があって、アプリケーション間で共有されている RAM セクタに特定のアプリケーションが不正な情報を残したときは、システムエラーが発生することがあります。

ほかのアプリケーションとの競合が問題の原因かどうかを判別するには、すべてのアプリケーションとユーティリティを終了後、InDesign 2.0 日本語版を実行します。

Windows では、Ctrl+Alt+Delete キーを押すとプログラムの強制終了ダイアログが表示されます。各アプリケーションを選択して「終了」をクリックすると、アプリケーションを終了できます（Windows XP では、Ctrl+Alt+Delete キーを押した後にタスクマネージャーを選択する必要があります）。ただし、「Explorer」タスクは Windows の基本コンポーネントなので終了しないでください。InDesign 2.0 日本語版を再起動し、1 つずつアプリケーションを終了する前にエラーが再現されるかどうかをチェックします。特定のアプリケーションを終了した後エラーが発生しなくなったのであれば、そのアプリケーションが InDesign 2.0 日本語版と競合しているとみなすことができます。

環境設定ファイルの再作成

InDesign 2.0 日本語版では、プラグイン、機能、および InDesign 2.0 日本語版自体に関する情報が環境設定ファイル（InDesign SavedData ファイルおよび InDesign Defaults ファイル）に格納されます。InDesign 環境設定ファイルが損傷すると、InDesign 2.0 日本語版の動作中にエラーが発生したり、InDesign 2.0 日本語版が正しく動作しなくなったりすることがあります。環境設定ファイルを再作成すると、発

生じた問題が環境設定ファイルに関連する問題であるかどうかを簡単に判別できます。

注意: InDesign 環境設定ファイルを再作成すると、設定がデフォルトに戻されます。環境設定ファイルを再作成する前に、必ず InDesign 2.0 日本語版 を終了してください。終了せずに再作成すると、InDesign 2.0 日本語版 が正しく動作しなくなる場合があります。

Mac OS で InDesign の環境設定ファイルを再作成するには：

1. InDesign 2.0 日本語版 を終了します。
 2. キーボードショートカット Command+F を使って Sherlock を開きます。
 3. 検索文字列としてテキストボックスに「InDesign SavedData」と入力して、検索アイコンをクリックします。
 4. 後で必要になったときにファイルを復元できるように、InDesign SavedData を選択し、ファイル名を "backup SavedData" のような名前に変更します。(注意：コンピュータ上に複数のユーザのアカウントがある場合、1つ以上の SavedData ファイルが存在することがあります。その場合は関連するファイル名のみを変更してください。)
 5. InDesign 2.0 日本語版 を再起動します。InDesign 2.0 日本語版 を起動すると、環境設定ファイルが再作成されます。
- この後も問題が発生するときは、InDesign Defaults ファイルに対してこの手順を繰り返します。

Windows 98、Windows Me、および Windows NT で InDesign 環境設定ファイルを再作成するには：

1. InDesign 2.0 日本語版 を終了します。
 2. スタート/検索/ファイルやフォルダを選択します。
 3. 名前と場所タブの名前テキストボックスに "InDesign SavedData" (二重引用符も入力します) と入力し、「検索開始」をクリックします。
 4. 表示されたリストから InDesign SavedData ファイルを選択し、ファイル/名前の変更を選択します。
 5. 後で必要になったときにファイルを復元できるように、ファイル名を "backup SavedData" のような名前に変更します。(注意：コンピュータ上に複数のユーザのアカウントがある場合、1つ以上の SavedData ファイルが存在することがあります。その場合は関連するファイル名のみを変更してください。)
 6. 後で必要になったときにファイルを復元できるように、ファイル名を "backup SavedData" のような名前に変更します。
 7. InDesign 2.0 日本語版 を再起動します。InDesign 2.0 日本語版 を起動すると、環境設定ファイルが再作成されます。
- この後も問題が発生するときは、InDesign Defaults ファイルに対してこの手順を繰り返します。

Windows 2000 および Windows XP で InDesign の環境設定ファイルを再作成するには：

1. InDesign 2.0 日本語版 を終了します。
 2. InDesign 環境設定ファイルは隠しファイルです。隠しファイルを表示するには、「エクスプローラ」の「ツール」メニューから「フォルダオプション」を選択し、「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」オプションで「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択して OK をクリックします。
 3. スタート/検索/ファイルまたはフォルダを選択します。
 4. 名前と場所タブの名前テキストボックスに "InDesign SavedData" (二重引用符も入力します) と入力し、「検索開始」をクリックします。
 5. 表示されたリストから InDesign SavedData ファイルを選択し、ファイル/名前の変更を選択します。
 6. InDesign 2.0 日本語版 を再起動します。InDesign 2.0 日本語版 を起動すると、環境設定ファイルが再作成されます。
- この後も問題が発生するときは、InDesign Defaults ファイルに対してこの手順を繰り返します。

InDesign SavedData ファイルと InDesign Defaults ファイルの両方を再作成しても問題が再発するのであれば、その問題は環境設定ファイルに関連していません。カスタム設定を復元するには、新規作成した環境設定ファイルを削除し、バックアップコピーのファイル名をオリジナルのファイル名に戻します。

InDesign 2.0 日本語版の削除および再インストール

InDesign 2.0 日本語版 アプリケーションとリソースファイルを出荷時状態にするには、InDesign 2.0 日本語版 を再インストールします。InDesign 2.0 日本語版 インストーラは、既に存在するファイルについては上書きせずにそのまま使用するために、InDesign 2.0 日本語版 を最初に削除してから再インストールする必要があります。

注意: InDesign 2.0 日本語版 を削除する前に、Adobe InDesign 2.0J フォルダ内に保存している、ドキュメント、アップデート、ユーザ欧文辞書ファイル、サードパーティ製プラグインなど、必要な個人ファイルをすべてバックアップしておいてください。

Mac OS で InDesign 2.0 日本語版 を削除して再インストールするには：

1. InDesign 2.0 日本語版 を終了します。
2. InDesign 2.0J アプリケーションフォルダ内の個人ファイルをハードディスク上のほかのフォルダにコピーします。
3. Adobe InDesign 2.0J アプリケーションフォルダとその内容をごみ箱にドラッグします。

4. InDesign SavedData および InDesign Defaults ファイルを削除します。
(これらのファイルの検索の仕方は前述に記載した“Mac OS で InDesign の環境設定ファイルを再作成するには：”を参照してください。)
5. Finder から特別／ゴミ箱を空に ... を選択します。
6. 『インストールの仕方』のインストール指示に従って InDesign 2.0 日本語版を再インストールします。

Windows98、Windows Me、および Windows NT で InDesign 2.0 日本語版 を削除して再インストールするには：

1. InDesign 2.0J フォルダおよびその下層のサブフォルダから個人ファイル（画像やサードパーティ製プラグインなど）を別の場所に移動します。
2. スタート／設定／コントロールパネルを選択し、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。Adobe InDesign 2.0 日本語版 を選択し、「追加と削除」をクリックします。アンインストール後、InDesign 2.0J フォルダが残っているときは、InDesign 2.0J フォルダとその下層のサブフォルダを削除します。
3. InDesign SavedData および InDesign Defaults ファイルを削除します。
(これらのファイルの検索の仕方は前述に記載した“Windows 98、Windows Me および Windows NT で InDesign の環境設定ファイルを再作成するには：”を参照してください)
4. Windows を再起動し、バックグラウンドアプリケーションおよびユーティリティ(ウイルス検出ソフトウェアなど)をすべて終了します。
5. 『インストールの仕方』のインストール指示に従って InDesign 2.0 日本語版を再インストールします。

Windows 2000 および Windows XP で InDesign で InDesign 2.0 日本語版 を削除して再インストールするには：

1. InDesign 2.0J フォルダおよびその下層のサブフォルダから個人ファイル（画像やサードパーティ製プラグインなど）を別の場所に移動します。
2. スタート／コントロールパネルを選択し、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。Adobe InDesign 2.0 日本語版 を選択し、「追加と削除」をクリックします。アンインストール後、InDesign 2.0J フォルダが残っているときは、InDesign 2.0J フォルダとその下層のサブフォルダを削除します。
3. InDesign SavedData および InDesign Defaults ファイルを削除します。(これらのファイルの検索の仕方は“Windows 2000 および Windows XP で InDesign の環境設定ファイルを再作成するには：”を参照してください。)
4. Windows を再起動し、バックグラウンドアプリケーションおよびユーティリティ(ウイルス検出ソフトウェアなど)をすべて終了します。
5. 『インストールの仕方』のインストール指示に従って InDesign 2.0 日本語版を再インストールします。

6. スクリプト

InDesign で AppleScripts(Mac OS)または Visual Basic Scripts(Windows)を使用するには、これらのスクリプトを InDesign 2.0 アプリケーションフォルダの Scripts フォルダに移動する必要があります。このフォルダに置かれたスクリプトはすべて、スクリプトパレットに表示されます。Scripts フォルダにフォルダを作成する場合、これらのフォルダとその内容はスクリプトパレットで階層構造として表示されます。

InDesign のスクリプトサポートに関する詳細については、InDesign CD のグッディーズフォルダに含まれている『InDesign 2.0 スクリプティングガイド』を参照してください。このガイドは、www.adobe.com/products/indesign/scripting.html から入手できます。

7. 著作権について

製品帰属について

© 2002 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、Acrobat、AdobePS、Distiller、Illustrator、InDesign、Photoshop、PostScript、および PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Adobe InDesign 2.0.1 ソフトウェアには、Apache Software Foundation で開発されたソフトウェアが含まれています (<http://www.apache.org/>)。Intel および Pentium は、アメリカ合衆国および他の国における Intel Corporation および子会社の登録商標または商標です。Mac および Macintosh は、アメリカ合衆国およびその他の国々における Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows、および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。PANTONE は、Pantone, Inc. の所有物です。PowerPC は、IBM Corporation の登録商標です。その他すべての商標または登録商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

The Apache Software License, Version 1.1

Copyright 1999 – 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment: "This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)." Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
4. The names "Xerces" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache" , nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

